令和８年度　学校評価自己評価表〔中〕

三次市立川西小学校

教育目標	**塩町中学校区**	『確かな学力を身に付け，他者との関わりを通して， 自らを伸ばそうとする子供の育成』	**ミッション**	確かな学力を身に付け，ふるさと川西を愛し，地域創生に参画していく生きる力を備えた人づくりを行い，地域の活性化に貢献する学校をめざす。
	川 西 小 学 校	『自ら学び，友と関わり，未来を拓く』 ～ふるさと川西を愛し　ともに　きたえ　みがき　のびる～	**めざす 子ども像**	○ともにきたえ合う子　　○ともにみがき合う子　　○ともに伸び合う子

	中期経営目標	短期経営目標	具体的な取組み・方策	評価指標・目標値	担当	評価 中間	評価 最終	目標達成状況	２学期への改善策
確かな学力の定着	■主体的・対話的で深い学びにより学力の向上を図る。	□基礎基本の定着	○「読み，書き，計算」の定着に ICT 機器，帯タイムや家庭学習の活用	○市販の学期末まとめテストにおいて，「読み・書き・計算」等の「知識・技能」の正答率 80％以上の児童の割合88％以上	教務部	4		○漢字の読み書きの達成者数25人 計算の達成者数24人のべ合計49名の達成数。全50名97％の達成。 （達成度　111．4）	○漢字テストや計算テストを定期的に行い，その結果に応じて，短時間の補充学習や再テストを実施した。ドリルタイムや算数タイムの充実を一層図り，学力を高めていく。
		□自分で考え，友と関わり合いながら学ぶ力の向上	○へき地・小規模校の特性を活かした「川西モデル」算数科授業づくりの研究	○算数科市販テストの学期末のまとめテストにおいて，「思考・判断・表現」の正答率　75％以上の児童の割合84％以上 ○教師アンケート(4 段階評価)の「学習リーダーの育成」「ファシリテーター役の実行」に係る項目の平均値 3.0 以上		3		○算数科の学期末テストの「思考・判断・表現」の達成者数 24 名 96％の達成。（達成度　104） ○教師アンケート「学習リーダーの育成」の平均値 2.35(達成度 75) 「ファシリテーター役の実行」の平均値 2.25 （達成度　75）	○定着を図るために再テストを定期的に行い，より理解を深める。 ○算数科の研究に向けて，下記 2 点について，今後研究を進めていく。 ①学習リーダーの系統的な育成 ②ファシリテーターの具体的な役割
		□多様な表現形式を用い，自分の考えを表現する力の向上	○多様な作品コンクール等への応募	○習字，俳句，短歌，作文，写生画等の作品を積極的に応募(1人年7本以上)，新聞掲載や表彰された児童の割合 84％以上 （中間は作品応募数のみで評価し，１年生を除いて１人３本以上。）		4		○作品応募半期3本以上(2～6年生)。（達成度　100）	○表現力及び自己肯定感を高める一つとして，作品づくりと応募を，半期も継続して取り組む。
豊かな心の育成	■他者に感謝し，思いやりの心をもって行動する力を育てる。	□相互に認め合える学校・学級づくり	○お互いのよさを認め合える活動の推進 ・学校～児童会による褒め合い活動 ・学級…友達のよい所を見つけ活動 ・職員…出来たこと，がんばったことなどを褒め，認める。 できなかったことは励ます。	○総合質問紙調査の自己肯定感に係る4項目の肯定率 85％以上(6月，11 月，2月に調査) ・自分のよさの自覚 ・得意なことがある ・努力して嬉しい ・認められている	生活保健部	4		○「自分のよさの自覚」 96.0％ 「得意なことがある」 84.0％ 「努力して嬉しい」 80.0％ 「認められている」 80.0％ 平均　　88.5％ （達成度 104.1）	○道徳の時間や学級活動，帰りの会などの様々な場面で，お互いのよさを認め合えるような活動を取り入れ，自己肯定感・自己有用感の向上を目指す。 ○教師による「褒める」「認める」「励ます」声掛けも継続して行う。
		□相手や場に応じた挨拶や返事をする習慣の確立	○「レベル３」の挨拶と気持ちのよい返事の指導と肯定的評価の声かけ	○生活アンケートで「レベル3以上の気持ちのよい挨拶をしている」の肯定率 80％以上		4		○「レベル3以上」と評価した児童の割合 80.0％ （達成度 100）	○児童会による定期的な「朝の挨拶運動」及び「良い挨拶をしている児童」の紹介を継続して行う。
たくましい体の育成	■健康に関心をもち，元気でたくましい心と体を作り，体力の向上を図る。	□基本的生活習慣の確立	○日常的な家庭との連携 ○設定した生活習慣確立週間の前後や機をとらえた学級指導，朝会での全校指導	○生活習慣アンケートで「翌日学校がある日の早寝」の達成率 80％以上	生活保健部	3		○「翌日学校がある日の早寝」 達成率 87.2％ （達成度 109.0）	○朝会時を利用して，睡眠についての保健指導を行う。
		□体力・耐力の向上	○体育で柔軟性を高める運動の実施 ○朝の会で基礎体力運動の実施	○新体力テストの握力において，全国平均を上回る児童 60％以上(昨年度 37.0％) (5 月，9月，12 月に調査)		1		○「握力」において，全国平均を上回った児童 44.0％ （達成度 73.0）	○体育の授業で，筋力を高める運動やストレッチを継続して取り組んでいく。 ○朝の会での体力つくりを継続する。
信頼され，地域とともにある学校	■地域と学校の相互の連携と協働に努め，「信頼される学校」「地域とともにある学校」づくりを推進する。	□地域・家庭や保小中高と連携・協働した教育活動の推進	○コミュニティ・スクールで設定した身に付けさせたい資質・能力の共有化と意識化 ○保小中高合同活動や地域に学ぶ教育活動の実施 ○HP や学校だより等で積極的な情報発信	○中学校区 CS で育成したい【表現力】【協働性】【主体性】に係る総合質問紙調査の評価項目の平均肯定率 75％以上(対象:3～6年生) ○保・小・中・高合同活動を年5回以上，地域に学ぶ教育活動を全学級で実施 ○保護者アンケート「情報発信」「家庭との連絡・連携」の肯定率 85％以上	全職員	4		○「表現力」93.7％「協働性」95.8％「主体性」93.7％平均 94.4％(達成度 125) ○「合同運動会」(地域保小)「プログラミング教室」(小高)「挨拶運動」(小中) ○まち探検(低)，アスパラ・お茶についての学習・水辺の教室(中学年)，宿泊防災体験活動・ザリガニ池の生物調査(高学年) ○保護者アンケート「情報発信」100％，「家庭との連絡・連携」100％の評価 （達成度 117．6）	○3つの資質・能力を様々な教育活動に位置付け，全職員で指導，評価していく。 ○2学期以降，低学年は生活科と関連付けて，地域探検・保育所交流を行う。 ○引き続き全保護者に満足して頂くよう迅速で丁寧な組織対応，積極的な情報発信を行っていく。
		□働き方改革の推進	○校務のデジタル化の推進 ○学校衛生委員会等による業務改善の熟議と実施	○時間外勤務時間を昨年度比以下に抑制		4		○時間外勤務時間の昨年度比 −19.7％縮減 (8 月末時点)	○見通しを持った業務遂行や職員間の協力体制が児童と関わる時間の増加や早めの退校につながっている。

【評価】　**4**：100≦（目標達成）　　**3**：80≦（目標を概ね達成）＜100　　**2**：60≦（目標をやや下回る）＜80　　**1**：（目標を大幅に下回る）＜60　　達成度＝達成値／目標値×100